

# 大型図書紹介記事

【様式3】

選定年度	所属学部	氏 名	大型図書タイトル	紹介記事
2021	文学部	許秀美	チャイムビィ復刊 叢書	<p>「チャイムビィ復刊叢書」は、朝鮮前期1446年から1969年の時点まで500年あまりの期間に発行・使用された、代表的な古典資料、読み書きの学習本、20世紀半ばに至るまでの近代の教科書等、629冊を対象に、影印復刻本（底本を写真撮影したものを原版にして印刷した複製本）として、原本を忠実に再現した刊行物です。今回は、そのうちの第2集：大韓帝国期(1897-1910年)158冊および、第3集：日帝強占期(1910-1945年)を龍谷大学図書館で購入をしました。</p> <p>大韓帝国が設立した1897年から帝国が衰亡した1910年までの教科書が150冊と日本統治時代に発行・使用された朝鮮語による教科書、そして、日本文部省や朝鮮総督府が作った日本語の教科書も一部含まれています。</p> <p>これらに資料には、朝鮮語文に関する開化期の研究の成果を反映したり朝鮮と世界の歴史と地理を取り上げたもの、また算数・理化学・天文・博物・地文・生理・衛生など自然科学分野でも少なくない教科書が含まれています。</p> <p>日韓のさまざまな問題を捉える上でキーポイントとなる大韓帝国期から日帝強占期に実際に教育現場で使用されていた教科書を分析することは、当時の社会情勢をうかがい知る手がかりになり、従来の研究成果の批判的材料として大きな役割を果たすことが期待されます。</p> <p>本資料は、歴史社会学、福祉史、文学史、教育史など、多岐にわたっています。研究分野としては、どのような文章・語彙が使用されてきたかという言語学上の重要資料として、教科書という性質から教育史の資料としても、教育上の必須資料としても活用できます。また、日本占領期の社会教育・福祉分野の教科教育資料が収蔵されており、社会学部社会福祉学科やコミュニティデザイン学科への波及も見込めます。</p> <p>卒業論文から大学院生の研究課題まで広範囲での活用が期待できる資料ですので興味がある学生は、ぜひご利用ください。</p>